



八 剣 山 通 信



第70号

八 剣 山 発 見 隊
2008年3月23日 発行

3月22日(土) 「2008 果樹せん定講習会」を開催しました。

【行事の概要】

今年の冬の八剣山周辺は、12月から2月中旬までの時期は積雪が例年になく少ない状況でしたが、2月下旬にはまたまった積雪がありました。3月に入ると天気が良く温かい日が続くようになり、積雪も日ごとに少なくなっています。

八剣山周辺の果樹園では、サクランボやリンゴの木の枝をせん定する作業が12月頃から行われており、今年は例年になく積雪が少ない時期が多かったことから、作業の方も順調に進んでいるようです。

例年、自宅の庭にサクランボやリンゴの木を植えている人が多数参加して果樹せん定講習会を3月下旬に開催しており、今年も元北海道農業試験場果樹研究室長の京谷英壽先生から、果樹の剪定における注意点や疑問な点などについて、実際にサクランボやリンゴの樹木を使って具体的にアドバイスしていただきます。

果物の木のせん定は、それぞれの枝の釣合が取れることにより果実の重さに耐えられるようにすること、収穫作業などが行きやすい樹形に整えること、太陽の光が十分に当たるようにすることで果実の成長を促すこと、病害虫の発生している枝を取り除くことなどが主な目的です。

八剣山発見隊がこの行事を行うようになってから、今年で4回目となります。これまで開催した3回の講習会に200人を超える皆さんが参加して、果樹のせん定方法や接ぎ木の方法について学んでいます。

この講習会は、果樹栽培について直接専門家から学ぶことができる、大変良い機会であると思います。

・ 主 催 : 八剣山発見隊

【今回の行事開催場所】

アクセス・マップ

札幌中心部より車で約40分



【行事の感想】

晴れ渡った青空の薄い雲のベールを通して差す太陽の光が、果樹園の残雪に反射してまぶしい日です。また気温もお昼にかけて上昇し、気持ちの良い一日でした。

講習会には60名が参加し、講師の京谷先生からせん定の必要性などについて説明を受けてから、まだ30センチほどの積雪が残る園地に入って、植えてから2~3年経過した、高さが2メートルほどに成長したサクランボの木によるせん定の実演を行いました。せん定する枝の見分け方、せん定に当たって注意する点、果樹園でのせん定方法と自宅の庭に植えている果樹とのせん定方法の違いなどについて具体的に説明を受けたほか、大きくなった果樹についてのせん定方法についても説明が行われました。

サクランボの木に続いて、リンゴの木についての説明が行われ、リンゴの木についてはせん定方法のほか縄を利用して枝を伸ばす方法について、実演による説明が行われたところでした。

参加者からは、自宅で育てている果樹についての質問がたくさん出され、時間をかなりオーバーするほどでした。

鳥の被害を防ぐためのテグスの利用方法や、農薬を減らすためのフェロモン使用についても説明が行われました。



【せん定方法の説明を行う京谷先生】

【今後の行事予定】

・ 未 定(決定したいホームページ等でお知らせします。)

発行:八剣山発見隊事務局(事務局長 山澤 敬)
061-2274 札幌市南区小金湯510番地
TEL 011-596-2920 FAX 011-596-2920
<http://www.hakkenzan.com/>

2008 果樹せん定講習会



【 果樹園と八剣山 】



【 実施に当たっての事前説明 】



【 サクランボの木のせん定 】



【 リンゴの木のせん定 】



【 縄を利用するの枝の整形 】



【 参加者の質問に回答する京谷先生 】

